



第12回

子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会

虐待死ゼロを目指して

(独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)

私たちの“愛”が
子ども達の未来を支えます



オレンジリボン運動とは、オレンジリボンをシンボルマークとして子ども虐待防止を広める市民運動です。オレンジリボンには、子ども虐待の現状を伝え、防止し、虐待を受けた子ども達が幸福になれるようにという気持ちが込められています。

私たち一人ひとりが子どもの虐待について知り、
防止についてできることを考え、行動することが
子どもたちを救い、虐待をなくす大きな力になります。
虐待によって亡くなった子ども達に鎮魂の祈りを捧げ、
虐待死ゼロの決意を新たにするために、
あなたもオレンジリボンの輪に参加してください。

2014年11月9日①

12時半開場 13時半開演

会場 **ニッショーホール**
(港区虎ノ門)

参加費 **無料**
(事前申込不要)

主催 認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク

後援
(予定)

内閣府、文部科学省、厚生労働省、東京都、一般社団法人日本子ども虐待防止学会、一般財団法人こども未来財団、公益財団法人SBI子ども希望財団、全国社会福祉協議会(全国児童養護施設協議会・全国乳児福祉協議会・全国母子生活支援施設議会)、全国自立援助ホーム協議会、公益財団法人全国里親会、NPO法人日本子どもの虐待防止民間ネットワーク、NPO法人里親子支援のアン基金プロジェクト、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会、社会的養護の当事者グループ全国ネットワークこどもっと、他

第12回 子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会 虐待死ゼロを目指して

2003年に開始した「子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会」は、今年で12回目となりました。平成24年度児童相談所の子ども虐待相談対応件数は、66,701件となり、23年連続で増加しています。これは、児童虐待防止法施行に伴い、子ども虐待への社会的関心が高まり、関係者のみならず子どもをとりまく市民の方々に通告義務が知られてきたことで早期発見や対応が増えたということが考えられます。一方で、助けを求められない乳幼児や、相談につながるができなかった子どもなど、まだ見えない所で虐待に苦しむ子どもが潜在的に存在するともいわれています。

この集会では、虐待によって亡くなった子どもたちに鎮魂の祈りを捧げ、虐待防止のために虐待死の検証から、今私たちにできることを考えます。当日の皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

第1部 虐待死を悼み、命を讃える

一年間に虐待により亡くなった子ども達の名前や年齢、死亡原因などを読み上げ、参加者全員による黙祷を捧げます。

第2部 講演&トークセッション

諸外国ですでに実施されている死亡原因究明制度（チャイルドデスレビュー）の内容と課題、日本で行われている研究、導入の必要性について学びます。さらに、厚生労働省で行われている子ども虐待等による死亡事例の検証結果から、子どもの虐待死の現状を知り、防止のあり方について考えます。

基調講演

「チャイルドデスレビュー・ひとりひとりの子どもの死を無駄にしないために」

国立成育医療研究センター 部長 森 臨太郎氏



森 臨太郎氏 (もり りんたろう)

岡山大学医学部 大学院博士課程修了後、小児科および新生児科に従事。2000年に渡豪し、新生児科の診療と周産期医療システムの構築に携わる。その後、英国にてロンドン大学熱帯医学・公衆衛生学大学院で疫学修士を取得。NICEのガイドライン作成に携わる。英国小児科学会フェローにも選出。大阪府立母子保健総合医療センター企画調査室長に就任し、グローバルヘルスの政策策定に携わる。日英両国の小児科学会専門医。

トークセッション

「虐待死ゼロを目指して! ~取り組みの現状と展望」

国立成育医療研究センター 部長 森 臨太郎氏

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会委員長 関西学院大学 教授 才村 純氏



才村 純氏 (さいむら じゅん)

大学で心理学を専攻した後、大阪府児童相談所児童福祉司、大阪府福祉部福祉政策課主幹、厚生省児童家庭局企画課児童福祉専門官、日本子ども家庭総合研究所ソーシャルワーク研究担当部長などを経た後、平成20年4月より現職。博士(社会福祉学)

認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク 理事長 吉田 恒雄

総合司会 名取 直子氏



名取 直子氏 (なとり なおこ)

2000年TV朝日「キッズニュース」キャスターデビュー。地域行政番組を通じて2万人の親子取材経験を積み、MC司会のほか、地域の絆を深める街頭紙芝居・絵本セラピストとして、数多くのイベント出演・大人向け絵本講座開催など全国活動中。「父薫る・母アル中・弟引きこもり」という波乱万丈な人生経験を生かし、出産後は母親支援・社会養護活動に積極的に参加している。

第3部 子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」

ニッショーホールをスタートして銀座界隈から常磐橋公園までを行進します。オレンジリボンを身に付け、子ども虐待防止に対する想いを胸に。思い思いのプラカードやオレンジ色のペンライトを持ちながら、子ども虐待のない社会作りを社会にアピールします。



「オレンジ色の服装や物を持つての参加を歓迎します。」

ニッショー
ホール

銀座
周辺

東京駅
周辺

常磐橋
公園
(予定)



●行進では誘導員の指示に従い、交通車両に気をつけて歩行してください。●会場で荷物をお預かりすることができません。●集会および行進開催中の映像、写真などは報道メディアへ掲載されることがあります。その掲載権は主催者に属します。●行進のコースは変更する場合がございます。

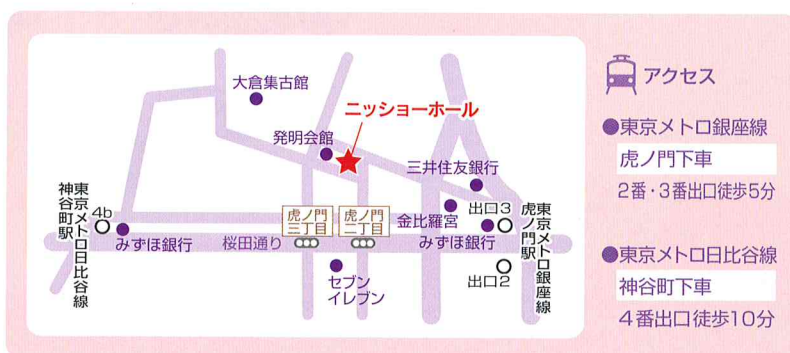
日時 **2014年11月9日(日)**

12時半開場 13時半開演

会場 **ニッショーホール**
(東京都港区虎ノ門2-9-16)

参加費 **無料** お申し込み不要

当日直接会場へお越し下さい。



アクセス

●東京メトロ銀座線
虎ノ門下車
2番・3番出口徒歩5分

●東京メトロ日比谷線
神谷町下車
4番出口徒歩10分

お問い合わせ



認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク

〒156-0043
東京都世田谷区松原1-38-19
東建ビル502

E-MAIL: info@orangeribbon.jp

<http://www.orangeribbon.jp>
TEL/FAX: 03-6380-6380